

灯油の盗難にご注意を

この時期は、住宅や事務所の戸外に設置されたホームタンクから灯油が大量に盗まれる事件が毎年多数発生しています。ホームタンクは安全面、景観面から家の裏手など人目に付きづらい場所にあることが多いので、しっかりと対策をして被害に遭わないようにしましょう。

手口その1 給油口を開けて灯油を抜き取る

被害が一番多い手口は、給油口を開けてポンプを使い、灯油を抜き取る手口です。給油口が誰でも開けられる状態にしておくことは大変危険ですので、給油口に南京錠を掛けるなどの対策をしましょう。また、ホームセンターなどで販売されているタンク内のホース侵入防止器具を付けるのも有効です。

手口その2 給油管を切断して灯油を抜き取る

タンク下部のパイプ部分を切断して、灯油を抜き取る手口です。パイプ部分は、工具があれば誰でも簡単に切断できてしまうことから、手口その1の対策と同様に、ホームセンターなどで販売されている配管カバーやバルブカバーなどを設置することが有効です。

手口その3 タンクごと持ち去る

小さな屋外型タンクの場合、トラックを横付けしてそのまま持ち去る手口もあります。こういった手口を防ぐために、タンクの周囲にセンサーライトや警報機、防犯カメラなどの防犯機器を設置することをおすすめします。



■いずれの手口も

空き巣などと同様、留守の家を下見して狙う手口が多いので、特に旅行など長期で出かける前に対策をしましょう。また、ポータブルストーブなどの給油用に買った灯油を、ポリタンクに入れて屋外の見えるところに放置したり、鍵の掛かかっていない物置などに保管することは、防犯上だけでなく、安全性の面からも絶対にやめましょう。

■もし被害に遭ったら

すぐに警察署または最寄りの駐在所へ通報してください。また、配達業者によっては盗難補償をしている場合もあるので、確認しておきましょう。

引き続き悪徳商法にも注意しましょう

先月号で悪徳商法についてお伝えしましたが、未だに悪徳商法の被害者が後を絶たず、特にデート商法と利殖商法の被害が増加しています。被害に遭った方が身近にいた場合、北海道立消費生活センター「☎011-221-0110」か警察相談専用ダイヤル「#9110」にすぐ相談するよう伝えましょう。

不審者や不審車両を見かけたら

警察署・最寄りの駐在または役場総務課までご連絡を！

苫小牧警察署 ☎0144 35 0110

追分駐在所 ☎25 2003

安平駐在所 ☎23 2339

早来駐在所 ☎22 2030

遠浅駐在所 ☎22 2211

役場総務課 ☎22 2511